

## 令和3年度 森林環境譲与税の使途状況(決算)

令和3年度は、田辺市森づくり構想策定等委員会を、昨年度に引き続き、木質バイオマス発電所などの現地調査を含めて4回開催して審議等を重ね、『田辺市森づくり構想』を令和4年3月に策定しました。

また、森林経営管理制度については、令和3年度は意向調査を6地区5,290ha実施し、経営管理権集積計画の策定に継続して取り組むとともに、森林整備については88.5haの間伐を実施、さらに効率的な制度の運用を図るため、森林経営管理システムを導入するなど森林経営管理制度の推進に努めました。なお、経営管理意向調査事業の集積計画の策定については、森林所有者と対面での説明等を行うため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を勘案し、一部地域について延期措置を行い、令和4年度に繰り越しています。

子どもの学習環境の向上や森林教育の一環として、毎日木の素晴らしさを感じ、林業への理解を深めることができるよう、引き続き、学校机及び教室等床の木質化にも取り組みました。

なお、使途状況については、下表のとおりです。

(単位：円)

事業名	事業内容等	事業費	財源内訳	
			森林環境譲与税	その他
田辺市森づくり構想策定等事業	森林環境譲与税の使途方針等を検討するため、付属機関を設置し、研修や林業関係者等への意見聴取等を実施し、総合的な指針の策定等を行う。	1,688,682	1,688,682	
経営管理意向調査事業	森林経営管理制度に基づく意向調査及び森林調査等の実施。 [6地区 5,290ha] (令和3年度 実施分) (令和4年度へ明許繰越分) ※1	39,500,333	39,500,333	
		(11,236,933)	(11,236,933)	
		(28,263,400)	(28,263,400)	
森林経営管理事業	森林経営管理制度に基づき、市が直接管理する森林を整備。 [間伐88.5ha]	55,543,400	53,587,673	1,955,727
森林経営管理システムの導入	森林経営管理制度運用において必要な林地情報を一元的に管理するためのシステムの導入。	9,705,100	9,705,100	
専門職員の雇用	森林経営管理制度の事務補助員として、会計年度任用職員を雇用。	2,019,872	2,019,872	
紀州材による学校施設木質化事業	小・中学校の児童・生徒用机(天板)及び教室等床の木質化。 [机：中学校8校、床：5校、15教室、職員室]	28,077,500	28,077,500	
<b>小 計</b>		<b>136,534,887</b>	<b>134,579,160</b>	<b>1,955,727</b>
森林環境譲与税活用基金への積立	後年度の森林整備等の財源としての基金積立。 (令和3年度 積立分) (令和4年度 積立予定分) ※2	89,533,840	89,533,840	
		(88,017,000)	(88,017,000)	
		(1,516,840)	(1,516,840)	
<b>合 計</b>		<b>226,068,727</b>	<b>224,113,000</b>	<b>1,955,727</b>
〔 うち令和3年度実施分 〕		(196,288,487)	(194,332,760)	(1,955,727)
〔 令和4年度実施予定分 〕		(29,780,240)	(29,780,240)	(0)

※1. 経営管理意向調査事業 39,500,333円のうち、事業の一部 28,263,400円を新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、令和4年度へ繰り越しています。

※2. 森林環境譲与税活用基金への積立 89,533,840円のうち、令和3年度は88,017,000円を積み立て、本年度使途事業へのその他財源充当などによる譲与税充当額の減少分等 1,516,840円については、令和4年度に積み立てることとしています。